

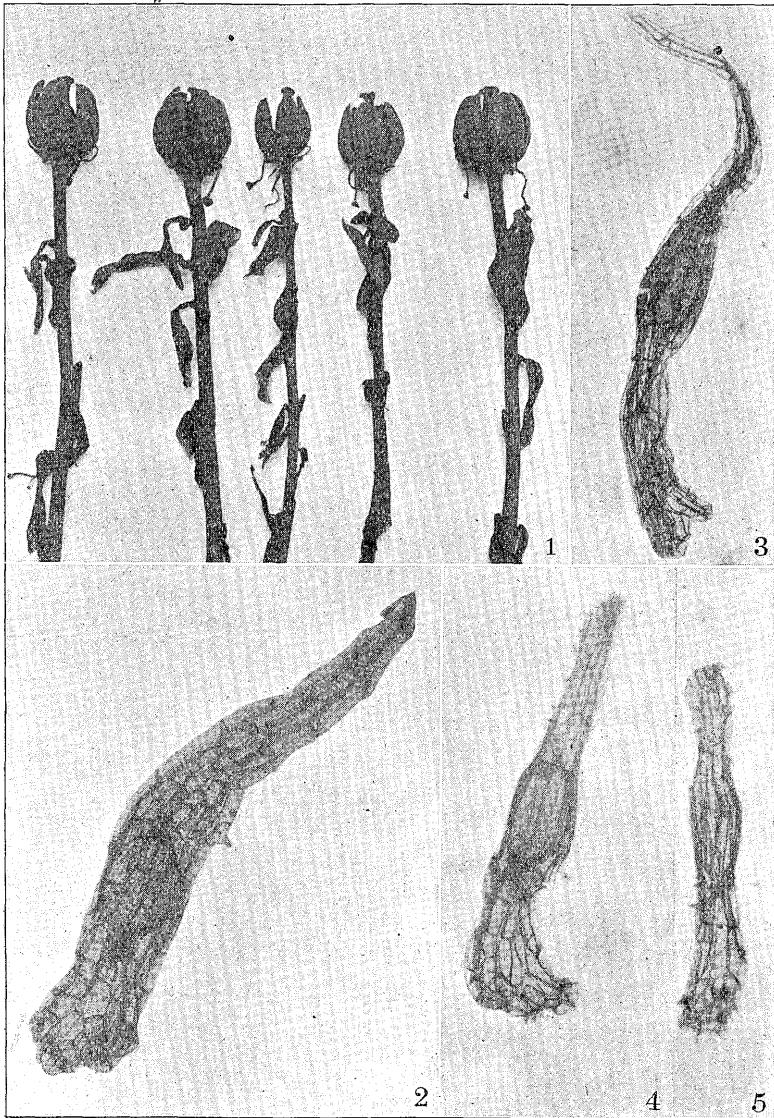
採 撫 餘 錄 (其二)

久 内 清 孝

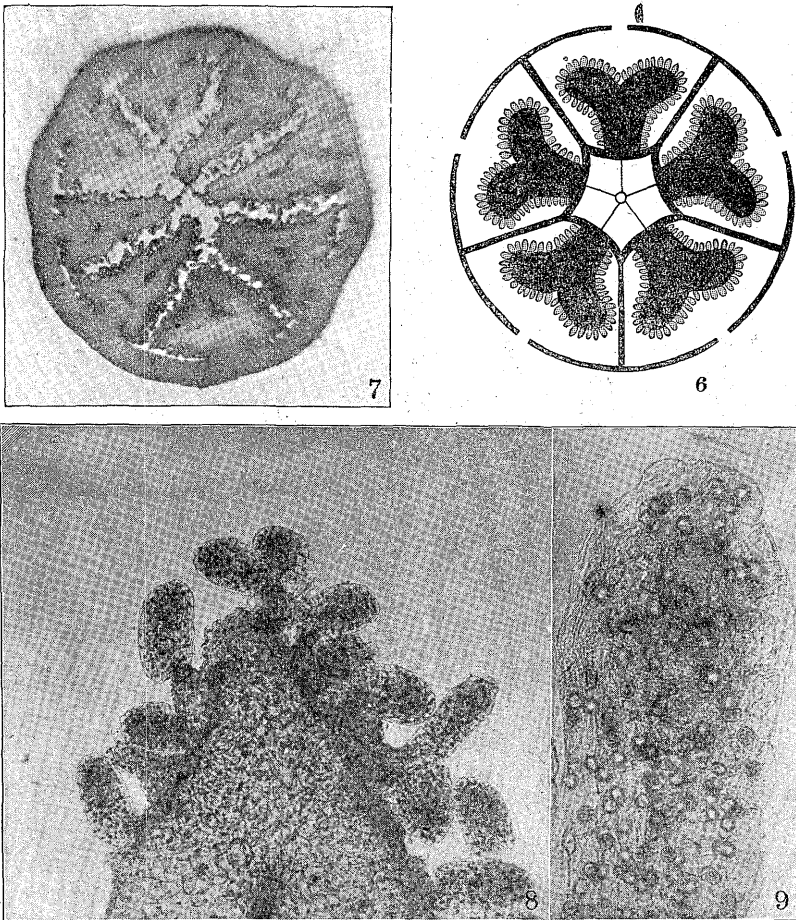
K. HISAUTI: Botanical Notes (II)

〇いうれいたけもどきノ果實

從來我國デいうれいたけ、ぎんれうさう、水晶蘭等ノ名デ呼バレテ居タ植物ハ屬ヲ異ニスル二種ノ植物デアルコトガ本誌 XIV 卷 6 號 (p. 426) デ原寛氏ニヨリ報告サレ、更ニ第 12 號 (p. 810) ニ同氏ガ布哇カラ寄セラレタ文ニヨリ眞正ノ *Monotropa* モ又日本ニ産スル事ガ確認サレルニ至リ、氏ハ之ニいうれいたけもどきノ新稱ヲ與ヘ、子房一室ノモノニ從來ノ和名ヲ殘サレタ。其後ニ於テ此點ガ明瞭ニナリ、大體 9—10 月頃ニ見出サレルモノガ、殆ンド例外ナクいうれいたけもどきデアルコトガ判明シタ、然シテ邦産ノモノガ果實シテ北米ノモノト同一種カドウカハ、目下滯米中ノ原氏ニ於テ研究シテ居ラレタガ、本誌昨年十二月號ニ同氏ガ書カレタ通り兩者甚ダヨク似テ居ル由デアル。余ハ昨年 10 月伊豆^{ヒガネ}日金峠ニ於テ、其朔果ヲ得タカラ之ヲ茲ニ報告シテオクコトニシタ。コノ植物モ、マタ花ハ下向スルガ花後ハ上向スルモノデ、果實ハ房性開綻 (dehiscencia loculicida) ラスル。心皮ヲ除去シテ側面ヨリ見ルト、胎座ハ肉質デ果實ノ中軸ニ紡錘狀ニ生ジ、柔細胞組織カラ出來テ居テ、10 縱列ヲ成シテ居リ、其乾燥收縮ニ依リ種子ガ分離飛散スルノデアル。胎座ノ中央ニ於テ横斷シ斷面ヲ見ルト中心ニ木質化セル中軸ガアルガ、其中軸ハ中央部ニ於テ擴大シテ五角形ノ房腔ヲ生ジ其房腔ノ中央ヨリ放射狀ニ 5 出シテ、房室外壁ノ各一片ヲ内部デ夫々二等分シテ居ルカラ、コノ房室ハ 5 室ニ區分サレテ居ルガ、更ニ此區分線ト互生シテ、即チ 5 角形ノ各隅角カラ出タ區劃線ハ各心皮ノ中肋ニ連リ、茲ニ 5 室ノ子房ガ出來上ルノデアル。各室ノ胎座ハ始メハ白色後ニ黑變シ、前述セシ如ク柔組織ヨリ成リ肉質デ其尖端ハ二又シテヤ、左右ニ擴ガリ、其外側ニ無數ノ種子ガ著生スル。側面ヨリ外見スルト、10 條ノ縱線ヲ認ムルト上デ述べタノハ、此ノ二又シタ尖端ガ縱ニ連ルカラデアル。即チ各房ニハ横斷面ニ於テハ二突起ガアリ、縱斷面ニ於テハ二條線ガ認メラレルノデアル。種子ハ細長デ網目狀ノ紋理アル種皮 (testa) ノ中央ニ占居シ、廣橢圓狀球形デ同屬ノしやくじやうさうやいちやくさう屬、うめがささう屬ノモノト殆ンド同形デアルコト圖 2-5 ノ通りデアル。ソレナラ本物ノいうれいたけノ子房ハ、ドンナ具合カト云フニ、側膜胎座ヲ有シ、胎座數約 8 デ一室、各胎座ハ側壁カラ半島狀ニ突出



第 1 圖 1. 伊豆日金峠産うれいたけもどきノ蒴果 2. 其種子 3. しゃくじやうさうノ種子 4. うめがささうノ種子 5. 其若キモノ

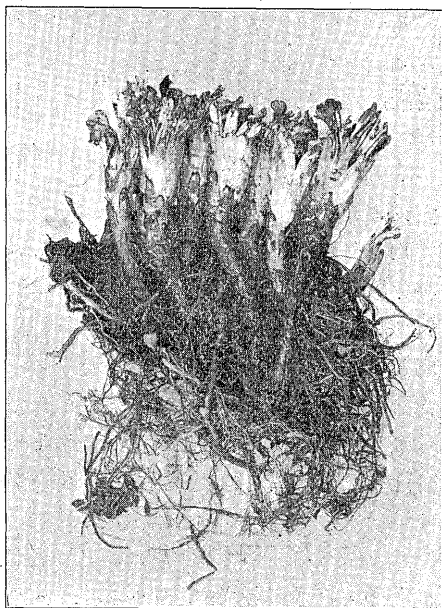


第 2 圖 6. いうれいたけもどきノ蒴果横断面模式圖 7. いうれいたけノ子房横断面 8. 7 ノ一胎座ノ頂部擴大 9. 更ニ胎座上ノ小突起ヲ擴大シテ卵子ノ附著狀ヲ示ス
 シヤ、二等邊三角形デ、細柄デ側壁ニ生ズル狀ノ断面ヲ示シ、其表面ニハ多細胞ヨリ成ル多數ノ微細ナル小突起ヲ發生シ、ソコニ多數ノ卵子ガ附著シテ居ル。コレガ如何様ニ發達スルカハ、此植物ノ成果ヲ見タコトガナイカラ解ラナイ。

○再びきよすみうつぼノ胎座數ニ就イテ

余ハ 1927 年 7 月 10 日、現京大助教授藥學博士木村康一氏等ト武州高尾山デきよすみうつぼヲ採集シタ折、胎座數ガ SIEBOLD、& ZUCCARINI 兩氏ガ *Floræ Japonicæ Familiæ Naturales* sect. alt (1846) p. 141 ヤ BENTHAM &

HOOKEER f. ガ Genera Plantarum II, p. 983 デ記述シタ事實ト相違シ、反ツテ ENGLER ノ分科大全 IV (1897) 3b, p. 132 ノ説ニ一致スルコトヲ本誌 V 卷 (1928) p. 20 デ木村氏ト共同デ述ベテ於イタ處、小清水卓二氏ハ本誌 XI 卷 (1935) p. 654-8 デ「奈良春日山ノきよすみうつばノ寄主ト胎座數ニ就イテ」ナル題下ニ、寫真入りデ胎座數ハ 4 ニシテ SIEB. et ZUCC. 説ト一致スルコトヲ報ゼラレタ。然ルニ、昨年 7 月東京科學博物館ノ採集會ニ參ジ、甲州成島峠ヲ東へ越シタ折、今關六也氏ガ峠ノ東側標高約 1300 米突ノ森林中デ、きよすみうつばヲ採集サレタノデ其一部ノ分與ヲ受ケ、子房ヲ檢シタル處寫真ノ通りデ、高尾山ノ場合ト一致スルヲ認メタ。依テ考フルニ、本植物ニハ二型ガアツテ 4 個ノ胎座ヲ有スルモノト、多數ノ胎座ヲ有スルモノトガ存在スル様デアル。



第 3 圖 甲州成島峠産きよすみうつば
(東京科學博物館液浸標本寫眞)

ソコデ、此ノ二型ノ分布調べヲ試ミ次ノ結果ヲ得タ。

A) 胎座 4 ヲ有スルモノ

産地不明 (SIEBOLD ト BUEGER ガ採集シタモノ)

盤城 (西白河郡 科博標本* No. 33071 採集者不明)

大和 (春日山 小清水卓二氏發見採集、本誌ニ報告セルモノ)

土佐 (成川村 科博標本 No. 39507 緒方松藏氏)

肥後 (大平山 科博標本 No. 31951 採集者不明 11, VI, 1916)

大隅 (高隈山 科博標本 No. 40913 朝日山秀文氏採)

B) 胎座 5-10 ヲ有スルモノ

武藏 (高尾山 久内清孝、木村康一氏)

駿河 (成島峠 今關六也氏)

土佐 (朴ノ川山 科博標本 No. 1887 渡邊協氏)

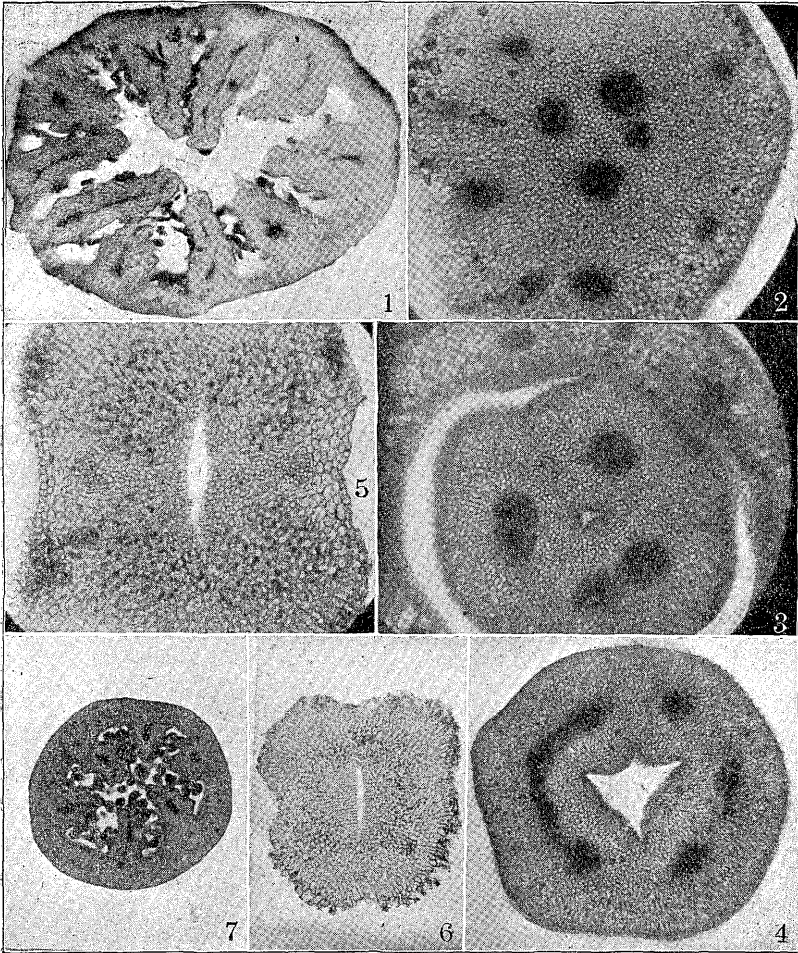
* 科博標本ハ東京科學博物館所藏標本ノ略

尙本誌 V 卷口繪ノ寫眞ハ、栃内吉彦博士ガ札幌ノ北大農場デ發生シタモノヲ撮影シタモノナルガ其胎座數ハ不明デアル。

サテ、コンナコトニナルト學名ヲ與ヘラレタモノハ 4 胎座ノモノデアルガ、きよすみうつぼナル和名ヲ與ヘラレタモノハドンモノカト云フニ、ソレハ房州清澄山デ發見サレテ、わうとうくわ(黃筒花)ト名付ケラレタモノデアルコトハ申ス迄モナイ、ト云フノハ東大ニハ 11 ノ標本ガアリ、其内最古ノモノハ (12. VI. 1882) 清澄デトツタモノデ、松村先生ノ植物名鑑 (1912) ニハ產地トシテ清澄丈シカ舉ゲテナイカラ長イ間清澄丈ガ知ラレテ居タモノラシイ。然シテ、此植物ハ矢田部、松村共著日本植物名彙 (1884) ニハ出テ居ナイガ、帝國大學理科大學植物標本目錄 (1886、松村任三編輯) p. 145、帝國大學植物園植物目錄 (1887、大久保三郎編) p. 165 ニハ何レモわうとうくわトアリナガラ植物名彙 (1895—松村任三) p. 209 ニ至リきよすみうつぼニナツテ居ル。以上ノ様ナ次第デ、清澄山デトツタモノヲわうとうくわト名付ケ、更ニきよすみうつぼト改名シタモノデ二者ハ同一デアルコトハ本誌 V 卷口繪ノ説明デ、既ニ牧野先生モ述ベラレテ居ル通りト信ズル。然シテ、清澄山ノモノハ高尾型即チ多胎座ノモノデアル。余ハ 3 回程清澄山産ノモノヲ切ツタガドレモ 5-10 デアツタ。從ツテ *Phacellanthus tubiflorus* ノ學名ヲ與ヘラレタモノハ 4 胎座型、わうとうくわ即チきよすみうつぼナル和名ヲ與ヘラレタモノハ實ハ多胎座ノモノデアツタコトハ疑フ餘地ガナイノデアル。

ソレナラ、此兩者ノ關係如何ト云フニ、一見別ノ様ニ見エルガ、各地ノモノヲ檢シタ結果カラ見ルト 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 迄アルノダカラ、4 ト ∞ トノ間ニ限界ヲ認メラレナイ。依テ之等ハ同一物ト見ルノ外ナイガ、胎座數ノ多イモノ程子房ガ大形デアル傾向ガアル。マタ、地方的ニ見テ之等ハ混在シ大隅高隈山ナドニハ兩形ヲ認メルカラ地方別ノ區別モ成立シナイト思フ。

ソレナラ何故斯ノ如ク胎座數ガ不同ナノダラウカ、ソレヲ考フルニ先立チ、其胎座數ヲヨク吟味シテ見ルト、胎座ハ大小不同デアル。即チ 4 トモ 5 トモ何レニモ數ニ得ル様デアル。勿論子房中央部ノ横斷面デ云フノデアルガ、切斷面ニコンナ事ガ起ルノハ胎座ノ大サガ不同ナ爲メデアル。從ツテ胎座數ニ拘泥スルノハ無意義ニ近イガ、之ヲ決スル一法トシテ心皮數ヲ考ヘル必要モアル。コノ植物ハ、コノ科トシテハ珍シクモ 3 心皮トサレテ居ル、而シテソレガ正シイトシテ子房ノ基部及ビ頂部ヤ、花柱ノ下部ヲ横斷シテ見ルト、中央ニ三角形ノ腔ガアルカラ、其三角形ノ各片ヲ一心皮トスレバ、明カニ 3 心皮ト考ヘラレル。更ニ各心皮ノ維管束ガ 2 分裂シ、其各束ノ内面ガ突出スルトスレバ、原則



第4圖 1. 清澄山産標本ヲ材料トシタ子房横斷面。(2-7. 成島峠液浸料ニヨリタルモノ) 2. 子房直下ノ花梗横斷面デ中央ノ4個(大3小1)ノ黒點ガ子房ニ上昇スル維管束デ外側ノ數點ハ苞ニ屬ス。3. 2ノ上部デ、中央ノ三角腔ノ周圍ニ維管束ヲ見ル、然シテ全形ヤ、左右相稱的ニ見ニ、外側ハ苞。4. 2ノ上部デ更ニ左右相稱的トナリ。5. 6ノ局部的擴大。6. 花柱上部ノ横斷面デ、中央腔ハ線狀ニナル。7. 子房中央部ノ横斷面デ、胎座ヲ示ス。

的ニハ3又ハ其倍數ノ胎座ガ生ズルコトニナリ、マタ維管束ノ大小ハ胎座ノ大小不同ノ原因ヲナスモノト考ヘラレル。然シ別ノ考方モアル、即チ子房ノ基部デモ花柱デモ中央腔ハ三角形デハアルガ極メテ不安定デ、段々ト上部ニナルニ

從ヒ、三角形ノ某片ニ缺裂ガ出來テ、遂ニ發達擴大シテ一大腔トナリ一室ノ子房トナル。故ニコノ腔ノ形狀ニヨリ心皮數ヲ決定スルコトハ不安デアアルノミナラズ、子房ノ基部ノ横斷ニツキ全形即チ輪廓ヲ見ルト圓形デハアルガ、ヤ、左右相稱的傾向ガアル、更ニコノ腔ヲ中心ニシテ維管束ノ配置ヲ考トルト更ニ一層左右相稱的デアアル、更ニマタ花柱上部ノ横斷面ヲ見ルト、中央腔ハ直線的ナ場合モアリ其左右ニ各一束ノ維管束ガ配サレテ居ル。而シテ子房基部ニ見エル弧狀維管束ハ小束ニ分裂シ、其各束ノ内側ハソレゾレ内方ニ突出シテ半島狀ノ胎座ヲ起シ、其大小及ビ數ハ維管束ノ大小及ビ數ト一致スル。

以上ノ二ツヲ考ヘ方ノ内、余ハ G. BECK ノ 3 心皮説ニ反シ 2 心皮説モ成立ツノデアルト思フ。終リニ余ハ成島峙ノモノ丈デ説ヲナスモノデ其液浸及ビ腊葉ハ科學博物館ニ藏サレテ居ル。

帶化植物其後ノ物色

松 村 義 敏

Y. MATSUMURA: Subsequent Hunting for the Fasciated Plants.

曩ニ帶化植物ニツイテ、本誌ニ記シタガ、¹⁾ 未完成ノママデアツタ。其後帶化植物小目録²⁾ヲ公ニシタガ、該目録ニ新出³⁾シテ、而モ未ダ詳細ナ報告ノナイモノガアリ、更ニ目録發表後ニ新ニ見出サレタモノモアリ、追々ト發表シテ最初ノ未完成ヲ充サントスルモノデアアル。先ヅ今回ハ著シイモノ四種ニツイテ記スコトニシタ。

帶化植物ニ關スル文獻ニ關シテハ、前記小目録ノ末尾ニ添ヘラレル筈デアツタガ、不幸ニシテ大部分カツトサレテアツタ。宜敷ク其後ノ小報「本邦植物畸形學文獻集 I⁴⁾」ニツイテ參照サレンコトヲ希望スル。

1. まさきノ莖ノ帶化 (第 1 圖)

コレハ莖ノ帶化品デ非常ニ見事ナモノデアアル。ソノーツノ枝ノ如キハ、片側的ナ成長ヲ遂ゲタ結果、渦卷キ狀ニ彎曲シテ、完全ナ輪ヲ形造シテ居ルノガ見

1) 植研, XII-12 (1936) p. 52. 2) 植研, XIV-4 (1938) p. 52. 3) 小目録中△印ヲ附シタルモノ 4) 植物趣味, VII-4 (1939) p. 144.